

## グレースチャペル礼拝週報

グレースチャペルの礼拝ようこそ！  
主の恵み溢れる礼拝でありますように！

詩篇朗読：詩篇 16 篇

聖書箇所：ヨハネの黙示録章 1～8 節

説教題：「幸いをもたらす黙示」

### \*ヨハネの黙示録1：1～8

1:1 イエス・キリストの黙示。この黙示は、すぐにも起こるはずのことを、神がその僕たちに示すためキリストにお与えになり、そして、キリストがその天使を送って僕ヨハネにお伝えになったものである。

1:2 ヨハネは、神の言葉とイエス・キリストの証し、すなわち、自分の見たすべてのことを証した。

1:3 この預言の言葉を朗読する人と、これを聞いて、中に記されたことを守る人たちとは幸いである。時が迫っているからである。

1:4・5 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、また、玉座の前におられる七つの霊から、更に、証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたにあなたにあるように。わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方に、

1:6 わたしたちを王とし、御自身の父である神に仕える祭司としてくださった方に、栄光と力が世々限りなくありますように、アーメン。

1:7 見よ、その方が雲に乗って来られる。すべての人の目が彼を仰ぎ見る、／ことに、彼を突き刺した者どもは。地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。

1:8 神である主、今おられ、かつておられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。

「わたしはアルファであり、オメガである。」

## ーメッセージ・アウトラインー

### (1) 著者、年代、時代的背景

「ヨハネの黙示録」の著者は、伝統的には十二使徒のヨハネであると考えられています。また、この書は、ドミティアヌス帝の頃（紀元90年代）に書かれました。ドミティアヌス帝は、キリスト教を激しく迫害した皇帝であり、本書の背景には、キリスト教への迫害がありました。

### (2) イエス・キリストの黙示

「黙示」という言葉には、「覆いを取り除く」という意味があります。他の箇所では「啓示」と訳されています。また、「イエス・キリストの黙示」は、「イエス・キリストについての黙示」、「イエス・キリストによってもたらされた黙示」、「イエス・キリストに属する黙示」という3つの解釈があります。

1節に、「この黙示は、すぐにも起こるはずのことを、神がその僕たちに示すため」と記されています。これは、私たちに事態が急を要すること、つまり事柄の緊急性を告げる言葉ですが、この意味をきちんと理解しておくことは大切です。

### (3) 朗読し、聞いて守る人の幸い

「幸いである」とは神に祝福されているということです。この言葉を朗読する人、聞く人、そして守る人は幸いである、とヨハネは言いました。聞いて分かるためには、神様の助けが必要です。そのためには、

①熱心に求めること、②神を敬いつつ待つことが大切です。神様は真剣に考える人だけでなく、祈りつつ、礼拝しつつ、静かに待つ者に啓示を与えてくださるのです。祈りと礼拝は、受け身の姿勢ではなく、真剣に献身的に、集中して神様の声を聞く心の姿勢が大切なのです。

## **GraceChapel ニュース**

1) 7月の残りとお8月の家庭集会 (バィブル・スタ  
デー) のスケジュールをお知らせします。  
いずれもご自由にご参加ください。ぜひご  
一緒に聖書を学びましょう!

◎市川集会 (日曜日午後1時半～)

【7月】18日

【8月】1日、8日、22日

◎津田沼集会 (火曜日午後2時～)

【7月】20日、27日

【8月】10日、24日、31日

◎市川集会 (水曜日午後2時～)

【7月】21日、28日

【8月】4日、11日、25日

◎世田谷集会 (木曜日午後1時半～)

【7月】22日、29日

【8月】5日、12日、26日